



「画面上に出てくるCMの情報で、制作スタッフリストも見るができたり、“このディレクターが他に作ったCMは何か”とか、深くリンクして見ていけると、ますます嬉しい。そういうのは僕らの業界しか見ないのかもしれませんが、“これを作った人に仕事を頼みたい”と思う人が増え、リアルタイムで広がりが出てくるでしょうね」と箭内さん。

# テレビと僕たちの新しい関係をつくる 「SPIDER PRO」

箭内 道彦 (風とロック)

これからのCM制作の強いパートナーとなるサービス「SPIDER PRO」が登場した。これは、最大8チャンネルをまる録り録画できるDVD／ハードディスクレコーダーとCM検索などの強力な情報検索サービスが融合した、新しいテレビ情報サービス機器である。クリエイティブ・ディレクターの箭内道彦さんは、そんな強い味方「SPIDER」を昨年末に手に入れ、日々活用しているという。

## スクリーンセーバーは、新しい“ザッピング”のかたち

いま自宅にはテレビが3台あって、それぞれ違うチャンネルを常に流しています。そうしているのは仕事柄というもあるし、もともとテレビ好きということもありますが、僕としてはテレビがずっと並んだ報道センターみたいな部屋が理想です。なぜそんな環境をついているのかと言えば、「裏で面白いことやっていたらどうしよう」的な強迫観念にいつもかられているからです。なので、テレビの前でずっと、落ち着き無くザッピングしてしまう。

そんな僕が「SPIDER」で一番気に入っている機能は、スクリーンセーバーです。予告なく、次々と番組の一部やCMが流れる、映像版i-PODのシャッフルプレイみたいな印象。あれを見ているだけで、次はバラエティーなのかニュースなのか、ドラマだったらストーリーは今どこなところなのかと、ものすごくイマジネーションが湧いてくるんです。そういう画面全体のコーラージュ感が“いま”という時間を表現していて、新しさを感じます。あの見え方は新しい情報との予期せぬ出会いや刺激を生むし、一つの“番組”としても面白い。切り替わっていく尺の長さもちょうど良く、タイトルなども表示されるから気になるものが出てきたら、そこに入っていけば全部見ることができる。映像ツールとしてもかなり便利ですよ。

## 機能の一つひとつが、テレビの楽しさを再認識させてくれる

以前から思っていることですが、広告業界の人たちはメディアに対してちょっと妄信的なところがある。メディアを信じているがゆえに、メディアに対して絶対的に服従姿勢をとりがちです。これはクリエイターに限ったことではありませんが、テレビとある種の主従関係ができてしまっているんです。でも、「SPIDER」があることで、初めてテレビと対等な関係になれる。そんな気がしています。むしろ「俺が

コントロールしてやる」くらい強い気持ちが生まれて、テレビが怖くなくなる。ある種の武器でもあり、使う側もこれに試されるという感じ。それはすごく画期的なことです。いまはタレントや企業の情報の検索が中心かもしれませんが、「SPIDER」には自分ならではの新しい使い方の可能性がたくさん秘められているように思います。

とにかくアンチインターネットの僕としては(笑)、「SPIDER」がどんどん進化して、テレビがインターネット以上に面白いものになってほしい。パソコン感覚で、1つの番組やCMからどんどん深いところにサーフィンしていって、スイッチが切れない状態になれば面白いと思います。インターネットっていいところもありますが、すごく誤解も多いメディア。その点、「SPIDER」には悪や誤解が入り込む余地がない気がするので、楽しくて幸せなものになってくれるんじゃないかと期待しています。

僕がテレビを見るのは、自分がCMを作っていることも理由の一つですが、結局、自分が作ったものが流れる場所のリアルな感覚を失いたくないというのが一番にあります。ポスターも貼られる場所を把握することで表現が変わってくるように、CMを作るからには、日ごろからテレビに目を慣らしておこう、見られる場所の感覚を自分の中につないでおきたいという気持ちからです。あとは単純に、新しいCMや、新しい俳優が出てくる楽しさありきで見ている部分と半々です。

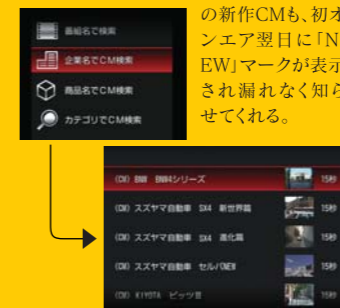
とくに僕は真夜中にテレビの生放送を見るときすごくホッとします。それはインターネットにはない感覚。それを求める人がいる限り、僕は絶対にテレビはなくならないと思います。時代に適応してテレビ自体が新しい形になっていけば必ず生き残っていく。100年後にもテレビCMはあるという自信があります。そういう意味では、「SPIDER」自体が、テレビの楽しさを広告していると言えるのではないのでしょうか。(談)

### 自動で全録

大幅な時間を要する録画予約は一切不要。電源を入れるだけで、最大8ch、1週間分の全番組&CMを自動的に録画し、一方で古い番組から自動消去されていく。常に1週間分の映像を保存しているため、放送局別番組表から見たい番組を選ぶだけで瞬時に再生。永久保存したい番組やCMはHDDやDVDに保存することができ、CMライブラリも簡単に作る事ができる。

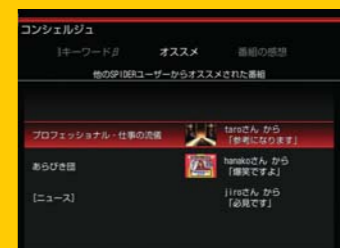
### CM検索

1週間分の全てのCMから見たいものを簡単に検索。出演者、企業名、商品名、カテゴリ(業種)のどれからでも画面上からリモコンで選択するだけで結果が一覧表示され、目的のCMを再生できる。「INFO」ボタンを押せば、出演者名やCMソング名、歌手名などが画面表示されるほか、タレントのプロフィールをチェックしたり、共演者のCMも続けて検索できる。また、競合他社の新作CMも、初オンエア翌日に「NEW」マークが表示され漏れなく知らせてくれる。



### レコメンデーション機能

複数台のSPIDERの間で、気になる番組やお気に入りのシーンなどを“オススメ”してユーザー同士が情報共有できる機能。紙飛行機ボタンを押して、あらかじめ登録していた送信先を選んで送信。受け取った相手は、こちらが伝えたかったシーンからメッセージ付きで再生できる。媒体で渡す手間も省け、迅速な情報伝達ができるので、企業の経営幹部対社員、広告主と代理店間の報告ツールとしても活用されている。



### スクリーンセーバー

画面の焼きつき防止に開発されたスクリーンセーバー機能は、思わぬ映像との出会いを触発するので、箭内さんも一等お気に入り。画面には録画されている1週間分の番組のワンシーンやCMが無作為かつ自動的に流れる。ミュートボタンで音をON/OFFでき、興味がある番組を見つけたら、その瞬間に冒頭に戻ってそのまま番組を見始めることもできる。ここから習慣的な視聴になる場合も多いらしい。

